

この時季 気になる この症状

6月29日は、48年前、最初で最後の来日を果たした「ピートルズの日」。先月、元メンバーのポール・マッカートニー(71)の公演が中止になり、入院中に腸捻転の手術を受けていたことが分かった。腸捻転とは、どんな病気なのか。

腸捻転



大腸のガスで拡張している腸管X線写真

分は固定されてなくプラブラしているの、便秘で便がたまるとその重さで、腸管へ扇状に延びる血管が走っている腸間膜の



起る腸捻転です。この部

消化器外科専門医で山村クリニック(東京・茗荷谷)の山村進院長「顔写真」が説明する。「大腸はある程度固定されて

腸管破裂なら致命傷も 自覚症状で早期発見を

- 《S状結腸の腸捻転の特徴》
- ★高齢男性に起こりやすい
 - ★症状として、腹部膨満感、嘔吐、便秘、激しい腹痛などが現れる
 - ★大腸内視鏡の処置で治るが再発が多い
 - ★根治手術をすれば再発率が5%以下になる

根元を支点にしてクルリとねじれてしまつてことがあるのです。高齢者は大腸の動きが弱いため便秘を起こしやすく、腸壁も薄くなるので便がたまりやすい。男性は骨盤が狭く、ねじれ

た腸が自然に戻るスペースが少ないので、女性より起こりやすいと考えられている。

【致命的なケースも】
S状結腸の腸捻転は、腹部の膨満感と嘔吐(おつと)、便秘が主症状になる。

「腸がねじれて血流が止まると、激しい腹部の痛みなどの虚血性の症状が現れます。ただし、高齢者は痛みを感じない人も多い。重症のケースで、血流障害から腸管が壊死(えし)したり、腸管が破裂して腹膜炎を起すと致命的となる場合があります。」

嘔吐や腹痛などの激しい症状が出ていなくても「便秘をしていておなか張るのに、おならがまったくでない」、そんな異変があれば早期発見のキーワードになる。検査は普通の腹部X線です。すぐに診断がつくとい

た腸が自然に戻るスペースが少ないので、女性より起こりやすいと考えられている。

【まずは内視鏡で戻す】
腹膜炎や腸管壊死を起さず

「内視鏡の吸引機能でねじれた腸内の内容を吸い取り減圧し、それからS状結腸を元の位置に戻します。成功率は76-90%で多くは内視鏡で治ります。一方、腹膜炎や腸管壊死を起した場合の緊急手術症例では手術死亡率(3-27%)が高くなります」

ただし、1度内視鏡で治しても、のびのびになつて腸管の再発率は高い。手術リスクが高くなければ、引き続き根治手術が検討される。

「根治手術は、腸管を20-30センチ短くします。高齢者は開腹手術より、術後の負担が少なく、回復が早い腹腔鏡下手術が推奨されます。術後の再発率は5%以下と報告されています」

いないS状結腸の腸捻転の治療は、まず大腸内視鏡を使った減圧・整備が行われる。

目撃金曜は健康ニュース